



中国幼兒園園長就任資格制度 に関する研究

張沢東・王小英

教育部幼兒園園長研修センター

@日本・2016/9/20（訳：呂 小耘）

主要な構成

一、研究の背景

二、主な課題

三、課題解決の構想

研究の背景

(一) 幾つかの国家関連政策の公表——従うべきもの

1.《国家中長期教育改革と発展の計画要領(2010—2020年)》
(以下“要領”)は、中小学校管理制度の視点から、「校長(幼稚園¹⁾園長も含む)の**就任条件**と就任方法を改善する」と提出した;教師管理制度の視点から、「**校長**(幼稚園園長も含む)の**就任資格基準**を作成し、校長の専門性を促進し、校長の管理水準を向上する」と提出した。

注1): 中国の幼稚園では3～5歳児が7:30～16:30まで預けられることが多い。私立の幼稚園では2歳児も受け入れるが、多くの2歳以下の乳児は家で育てられるか、あるいは有料の時間制の施設に預けられる。

研究の背景

2. “要領”を実施するにあたり、国家は“1+6”文書を公表。

“1”(国務院)とは、『国務院が教師チームの建設に関する意見』であり、“6”(部委)とは、『**幼稚園教師チーム**建設の強化に関する意見』、『特殊教育の教師チーム建設に関する意見』、『農村義務教育教師チーム建設推進に関する意見』、『専門学校の非常勤教師の管理方法』、『大学青年教師チーム建設の強化に関する意見』、『教師教育改革を深めるための意見』である。

研究の背景

3. 国務院の『国務院が教師チームの建設に関する意見』において、「**幼稚園園長**、普通中小学校校長、中等専門学校校長の**専門性基準**と**就任資格基準**を作成し、校長（園長）の専門性の基準を向上する」と提出した。また、部委の『**幼稚園教師チーム**建設強化に関する意見』において、「**幼稚園園長**就任資格制度を作成する。国家が**幼稚園園長**の**専門性基準**と**就任資格基準**を作成し、園長の専門性の水準を向上する。各省の教育行政部門は**幼稚園園長**就任資格**制度の実施方法**を作成する。

研究の背景

(二) 以前の制度と基礎——実態

1. 国家教育委員会²⁾の『全国幼稚園園長就任資格、職務責任と職務要求(試作)』(1996)において、園長就任資格条件は4つ:

第1に、中国共産党のリードを支持し、社会主義の祖国を愛し、真剣に国家の教育方針を実施すること。幼児教育を愛すること。(政治の素質——マクロの要求)

注2): 中国国家教育委員会(略省は「国家教委」)は、現在の中国教育部であり、日本の文部科学省に相当する部署である。

研究の背景

第2に、示範幼児園と農村の中心幼児園園長は
幼児師範学校（専門学校幼児教師専攻も含む）を
卒業し、あるいはそれ以上の学歴を持ち、5年以上
の幼児教育関連の職歴、かつ小学校、幼児園高
級教師の職務を持つこと。

（学歴要求、職歴、役職要求）

研究の背景

第2に、他の幼稚園園長は**幼児師範学校**（専門学校
幼児教師専攻も含む）を卒業し、あるいはそれ以上
の学歴や**高校卒業し幼児園教師専門試験の合格証
明証**を持ち、一定の**幼児教育関連の職歴**、かつ**小学
校、幼稚園1級教師**の職務を持つこと。

（**学歴要求**、**職歴**、**役職要求**）

研究の背景

第3に、**幼稚園園長職務研修合格証明書**を取得すること。

第4に、心身健康で、仕事ができること。

研究の背景

(二) 以前の制度と基礎——実態

2. 『全国幼稚園園長就任資格、職務責任と職務要求(試作)』と同時に『幼稚園園長職務研修を実行する意見』も公表され、**幼稚園園長職務研修**について明確な規定がなされた:

第1に、幼稚園園長**職務研修**とは、幼稚園園長の**就任資格研修**である。(定義)

研究の背景

第2に、研修を通して、園長が**正確に**党と国家の教育方針と政策を**理解し実施**すること、正確な**教育思想**を確立し、職務責任を果たすための**基本知識と能力**を獲得すること。（目標）

研究の背景

第3に、研修内容：中国の特色である社会主義理論の構築、党と国家の教育方針・政策・法律、幼児教育の原理、幼児園管理・国内外の幼児教育改革動向等。

※詳細は、『全国幼児園園長職務研修指導性教育計画』をご参照ください。

研究の背景

第4に、研修の機構：幼児師範学校、中等師範学校、教師研修学校、教育学院及び高等師範院校。

第5に、研修の講師：研修機構の教師、教育行政部門の管理職員、幼児教育が専門の学者と優秀園長。

主な課題

(一) 研修の法定名称の視点から—「職務研修」と「就任資格研修」

「職務研修」から「就任資格研修」へ(プロセス図)

『幼児園園長職務研修を施行する意見』

『全国幼児園園長就任資格、職務責任と職務要求(試作)』

「職務研修」を使用

『中小学校校長が証書で就任する制度の実行に関する規定』

「職務研修」を使用

『中小学校校長研修の規定』—「就任資格研修」を提出

主な課題

(一) 研修の法定名称の視点から—「職務研修」と「就任資格研修」

今まで、課題組が全国各省市研修方案を集めた(計23部)。「職務研修」を使用したのが10部、「就任資格研修」を使用したのが12部、「職務就任資格研修」を使用したのが1部。

省（市）	年限	实施方案名称
浙江省	2015	幼儿园园长 岗位培训 研修手册
广西省	2015	幼儿园园长 岗位培训 班开班通知
贵州省	2015	举办第14期幼儿园园长 岗位培训 班通知
云南省	2015	举办第47期幼儿园园长 岗位培训 班通知
广东省	2014	广东省幼儿园园长 岗位培训 班通知
山西省	2012	举办第18期幼儿园园长 岗位培训 班通知
上海市	2016	园长 岗位培训 班开始报名
南宁市	2014	幼儿园园长 岗位培训 班开班通知
苏州市	2014	第九期幼儿园园长 岗位培训 班通知
北京市	2011	第24期幼儿园园长 岗位培训 班招生简章

主な課題

省（市）	年限	实施方案名称
江苏省	2016	幼儿园园长 任职资格培训 班手册
福建省	2015	举办福建省幼儿园园长 任职资格培训 班的通知
河南省	2015	开展全省幼儿园园长 任职资格培训 工作的通知
湖北省	2015	第 51 期园长 任职资格培训 班通知
陕西省	2013	第三期全省幼儿园园长 任职资格培训 班的通知
哈尔滨市	2016	首届幼儿园园长 任职资格培训 班培训时间和内容安排
福州市	2015	关于举办福州市幼儿园园长 任职资格培训 班的通知
泉州市	2015	关于举办泉州市幼儿园园长 任职资格培训 班的通知
东莞市	2015	第七期幼儿园园长 任职资格培训 课程方案
郑州市	2015	举办民办幼儿园园长 任职资格培训 班的通知
宁波市	2014	宁波市幼儿园园长 任职资格培训 方案
昆明市	2013	民办幼儿园园长 任职资格培训 班集中总结交流通知
大连市	2008	幼儿园园长 岗位任职资格培训 实施方案

研修方案の名称の混乱の原因は、組織の実行部門が政策の変化を理解していなかったこと。それは、就任資格研修の重視の程度にも反映されている。

主な課題

(二) 園長の学歴、職歴、役職要求がまだ低い

国		学歴要求	職歴要求	役職要求
アメリカ		学士学位（大卒）	3年あるいは5年	教師資格証書
英国		普通教育高級証書（大卒）	2年以上	教師“資格レベル3”水準
日本		大卒あるいは大学院で規定する単位を履修	5年以上	幼児教師中級職級、教諭免許
中国	示範幼稚園/ 農村部中心 幼稚園	幼児師範学校卒あるいは以上	5年以上	小学校あるいは幼稚園高級教師
	他の幼稚園	高校卒、幼児師範学校卒あるいは以上	一定	小学校あるいは幼稚園1級教師

調査の状況

中国園長に就任した時の学歴、職歴と役職の実態を解明するため、筆者は「全国幼児園園長就任資格研修現状の調査(園長用質問紙)」を作成し、「全国中核園長の高度研修クラス」で調査を実施した。

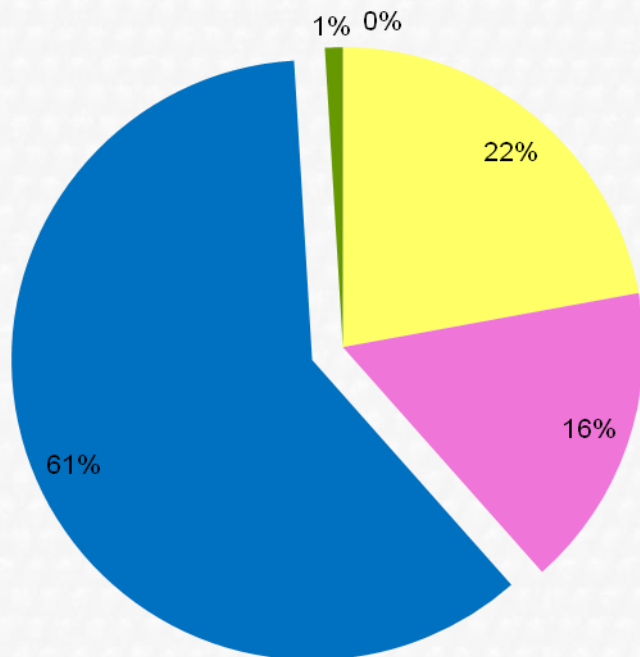
調査対象は全国計31の省出身(下図参照)、質問紙の発送数:計155部、回収数:計134部、有効回答数:計122部であった。



幼稚園園長就任時の学歴状況

图1：示范性幼儿园和乡镇中心幼儿园园长任职时学历状况统计图

- 高中以下
- 高中（中职幼师）
- 大专
- 本科
- 硕士及以上



園長就任時の学歴は、

「大卒」61%

「短期大学卒」16%

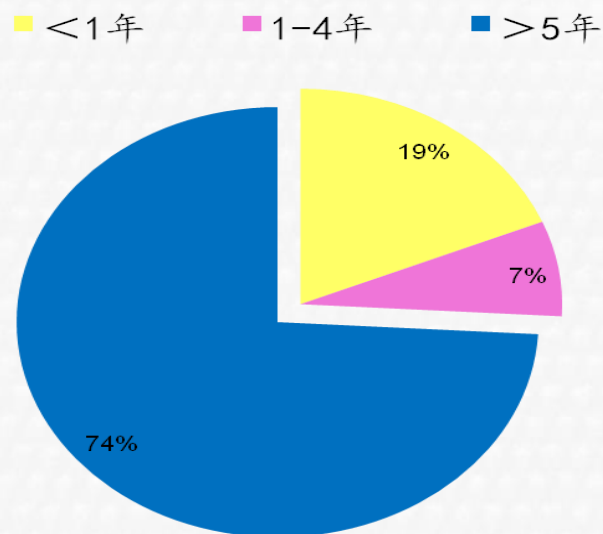
「高卒」22%。

（有効回答数：122部）

- 園長就任時の学歴について、「大卒」は61%で、一部の園長は大学院卒以上であった。
- 国際比較の視点から見ても、中国の実態から見ても、園長就任時の学歴要求が低かったと言える。

幼稚園園長就任した時の職歴状況

图2：示范性幼儿园和乡镇中心幼儿园园长任职时工作经历状况统计图

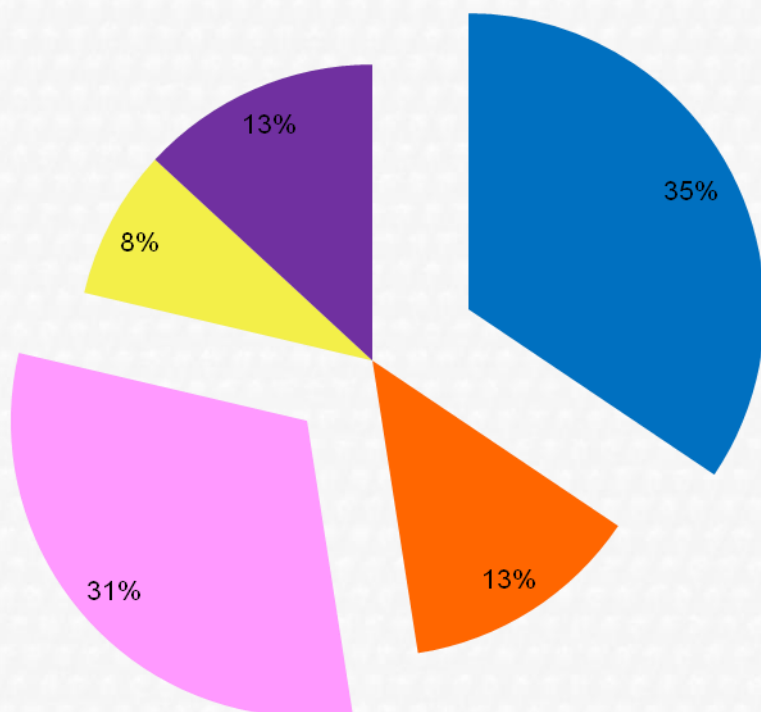


『全国幼稚園園長就任資格、職務責任と職務要求(試作)』の職歴要求(5年以上の幼児教育職歴)に達していた園長は総数の74%、残りの26%は就任時の幼児教育職歴が5年未満であった。そのうち19%は1年以下であった。

幼稚園園長就任時の役職状況

图4：示范性幼儿园和乡镇中心幼儿园园长任职时职称状况统计图

■ 小学高级 ■ 小学一级 ■ 幼儿园高级
■ 幼儿园一级 ■ 其他



「小学校と幼稚園高級教師」役職の園長は総数の**66%**。

うち「小学校高級教師」役職の園長は36%、「幼稚園高級教師」役職の園長は31%。

残りの**21%**の園長は就任時に役職が要求水準に達していなかった。そのうち「**小学校1級教師**」が**13%**、「**幼稚園1教師**」が**8%**であった。

まとめ

1. 「職務研修」と「就任資格研修」という名称使用という視点から、地方の研修機構では国家政策の理解が不足しており、園長就任資格研修をあまり重視していないことが示唆される。
2. 園長就任時に、国家政策の要求水準に達している園長も過半数見られたが、国際比較の観点からは、中国の高等教育が普及した現在でも、国家政策の要求より低かった。
3. 園長は幼児園をリードし管理する専門家であるが、園長就任時に、**26%**の園長が幼児教育職歴5年に達していなかった。さらに**19%**の園長が1年未満であったため、その専門性の水準が問われる。
4. 園長の役職も園長の専門性を反映する重要な側面であるが、**21%**の園長が国家要求に達していなかった。

主な課題

幼稚園園長に就任する際、学歴、職歴、役職などの条件以外に、もう1つ重要な条件は、「就任資格研修合格証書」を取得することである。そこで、プロジェクトチームで、就任資格研修の実施状況について調査を行った。以下では、**研修の対象、時間、内容、方法、講師、研修の機構、そして研修の証書管理**などの観点から分析を行う。

研修の対象

1996年1月25日、元国家教委（現在の教育部）が公表した『幼稚園園長職務研修の実施に関する意見』では、園長職務研修の対象は「**在職幼稚園園長及び将来園長になる管理職**」と規定された。

1999年12月30日、教育部は『中小学校校長研修規定』を公表し、就任資格研修を、就任資格研修は**新任校長及び就任見込みの校長**を対象とした研修と定義した。幼稚園園長はこの規定にならい、実施される。

在職幼稚園園長及び将来園長になる管理職

————→ **新任校長及び就任見込みの校長**

研修の対象

培训对象↵	数量↵
新任或拟任的园长、副园长↵	10↵
新任或拟任的园长、副园长及后备干部↵	7↵
新任或拟任的园长、副园长、相关工作人员↵	4↵
未说明↵	2↵

注：数据来源于搜集的全国各省市的园长任职资格或岗位培训方案。时间为2000年后。↵

調査中の23の省のうち、11名の研修対象は将来園長になる管理職と関連の職員であった。1999年の規定により、2000年以降の研修対象は新任校長及び就任見込みの校長のみとなった。研修の機構の理解や意図を確認する必要がある。

研修の時間

1996年1月25日、元国家教委（現在の教育部）が公表した『幼稚園園長職務研修の実施に関する意見』では、園長は**240時間**（実践授業を除き）の研修を受けることが規定された。

課外及び自学の方法で研修する場合、**毎週半日**（あるいは毎月2-3日の集中）及び夏・冬休みに15-20日の研修を行い、本計画で規定されているカリキュラムを受講し（単独でも可）、園長は自学以外に、200時間の対面授業と対面指導、試験と審査を受ける（テレビ授業も含む）。

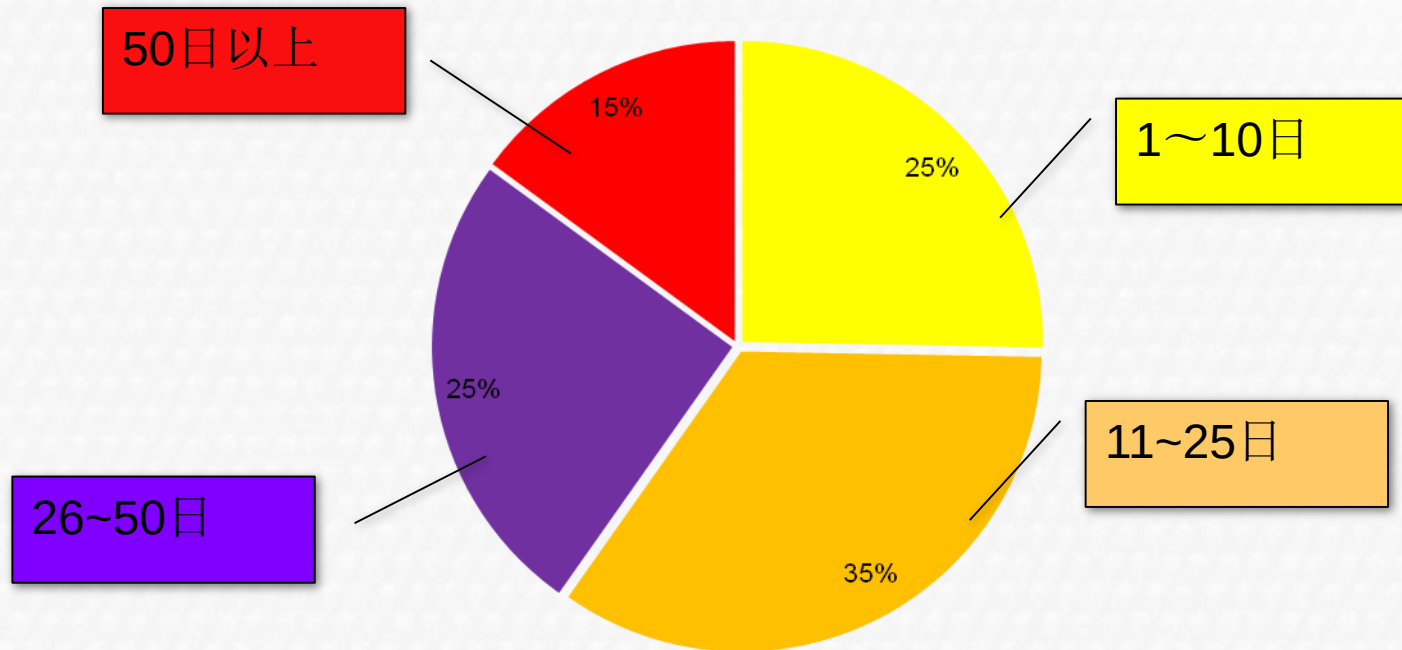
1999年12月30日、教育部は『中小学校校長研修規定』で「就任資格研修では計**300時間**以上の研修を受けること」と規定。幼稚園園長は本規定にならない研修に参加する。

研修の時間

園長就任資格研修の 日数

园长任职资格培训天数统计

■ 1-10 ■ 11-25 ■ 26-50 ■ 50以上



研修の時間

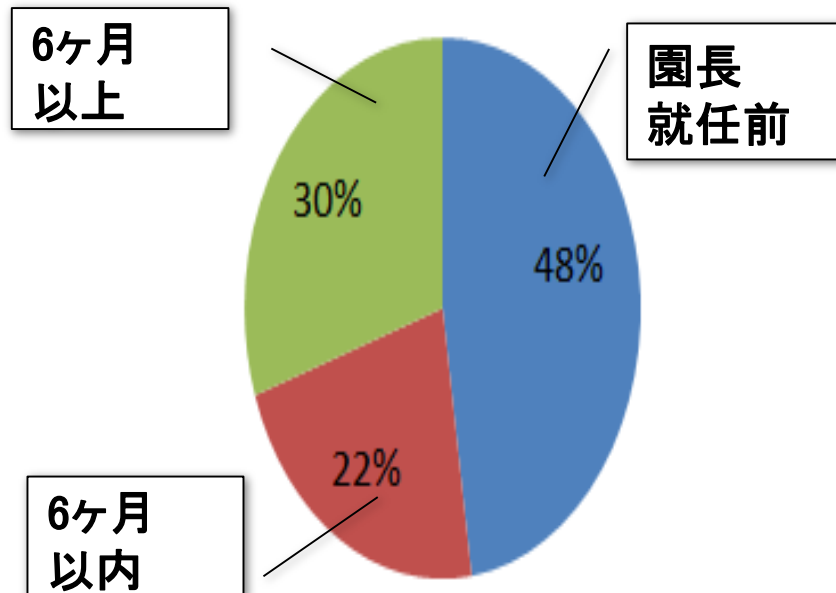
上記の結果から、園長就任資格研修について40%は国家要求の基準（300時間相当）に達していたが、60%は50日以下であった。そのうち、10日以下の研修は4分の1も占めた。

以上より、地方教育行政部門と研修機構が園長就任資格研修を重視していなかったことが示唆される。

研修の時間

園長就任と研修参加時間の比較図

■ 担任園長前 ■ 6ヶ月以内 ■ 6ヶ月以上



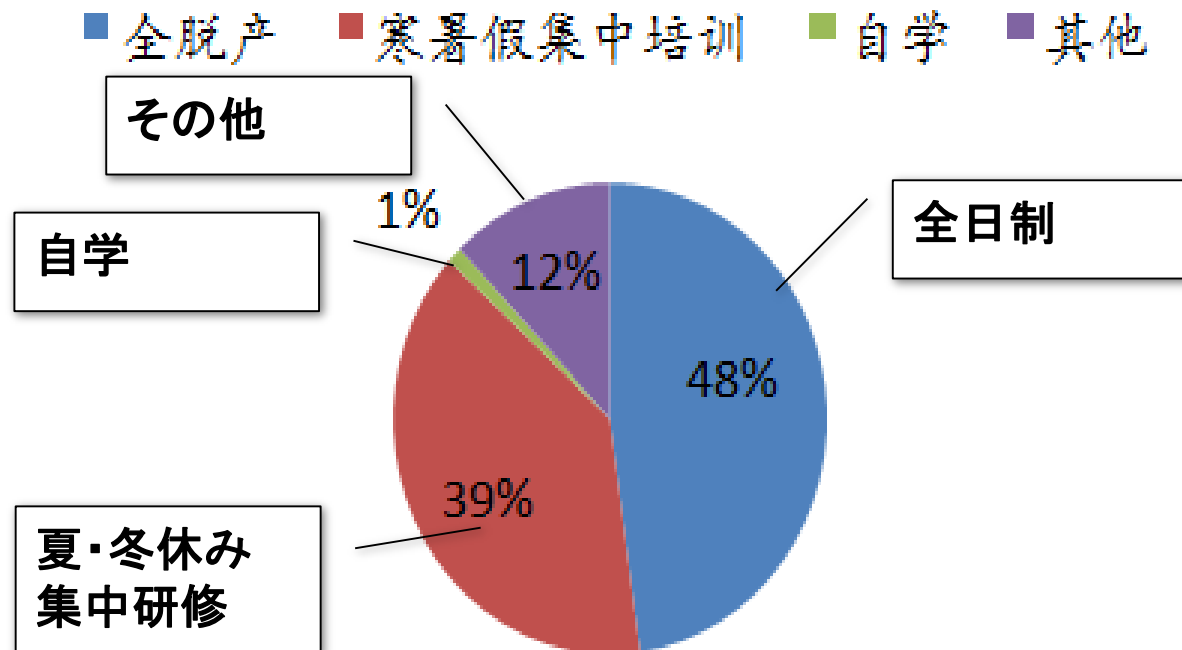
中小学校校長就任前に「就任資格研修合格証明書」を取得、あるいは就任日から6ヶ月以内に、校長を任命した（あるいは雇った）機構が手配した就任資格研修を受け、「就任資格研修合格証明書」を取得する。幼稚園園長については本規定にならない実施する。



30%の園長が規定通りに研修を受けていなかった。

研修の形式

園長就任資格研修の形式状況統計図



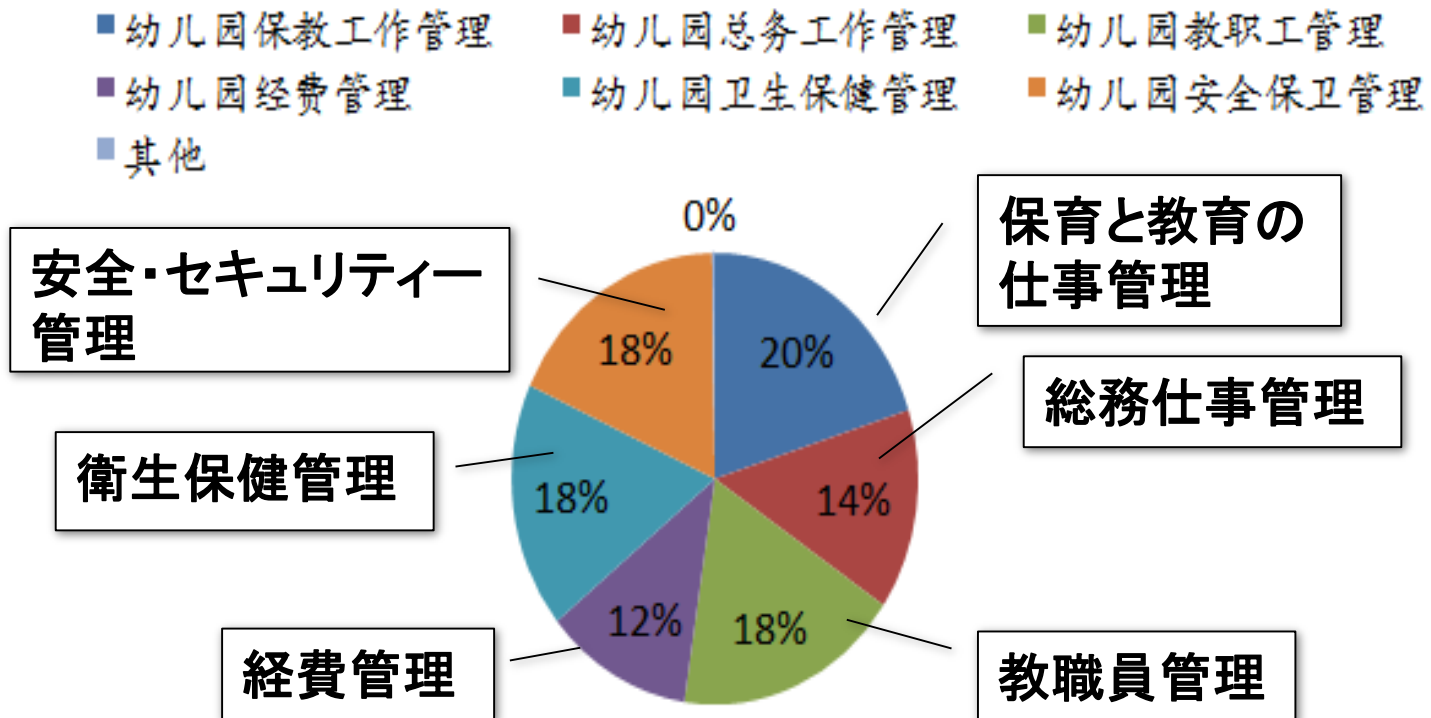
研修の内容

『幼児園園長職務研修の実施に関する意見』と『全国幼児園園長職務研修指導性教育計画（試行案）』では、幼児園園長職務研修内容は以下を含む必要がある：

中国特色社会主义理論の構築；党と国家の教育方針、政策、法律；幼児教育原理；幼児園管理；国内外の幼児教育改革動向及び実践活動など。

研修の内容

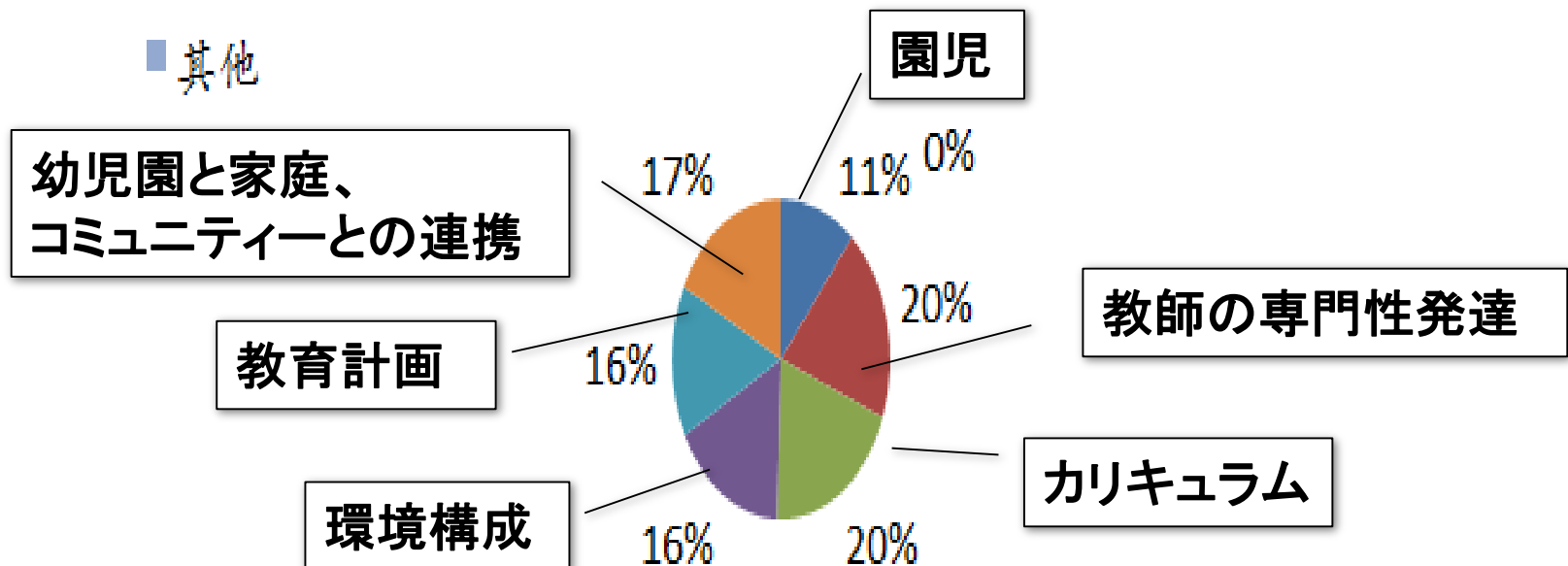
園長就任資格研修における幼稚園マネジメントに関するカリキュラム



研修の内容

園長就任資格研修における幼稚園教育に関するカリキュラム

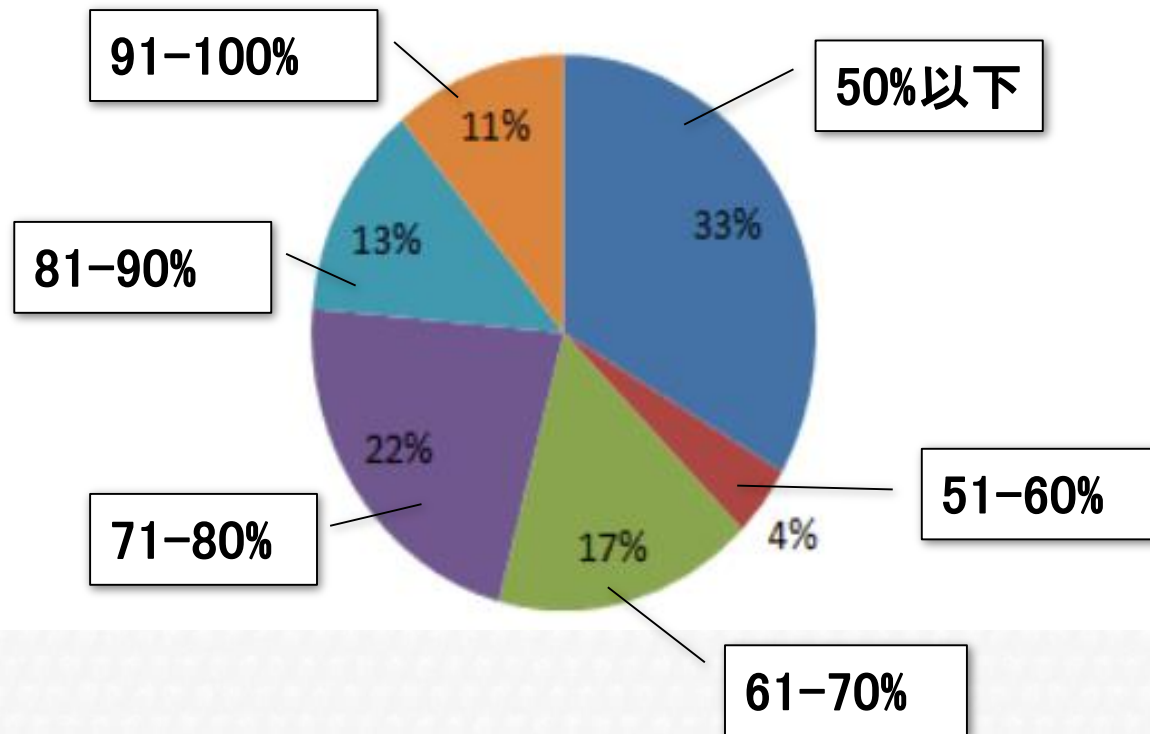
- 幼稚園児童
- 幼稚園教師专业发展
- 幼稚園课程
- 幼稚園环境创设
- 幼稚園教育计划
- 幼稚園与家社合作
- 其他



研修の内容

園長就任資格研修における理論授業の全授業に対する比率

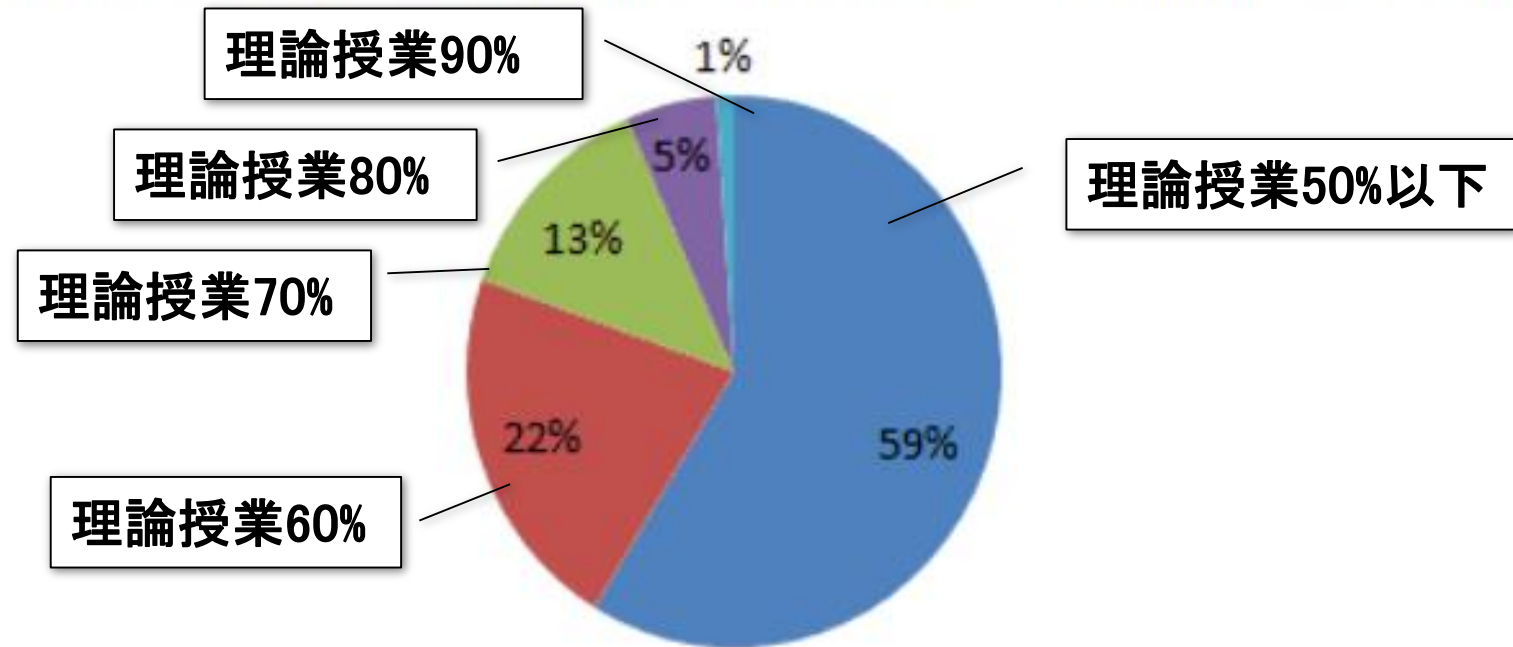
■ 50%以下（含50%） ■ 51%-60% ■ 61%-70% ■ 71%-80% ■ 81%-90% ■ 91%-100%



研修の内容

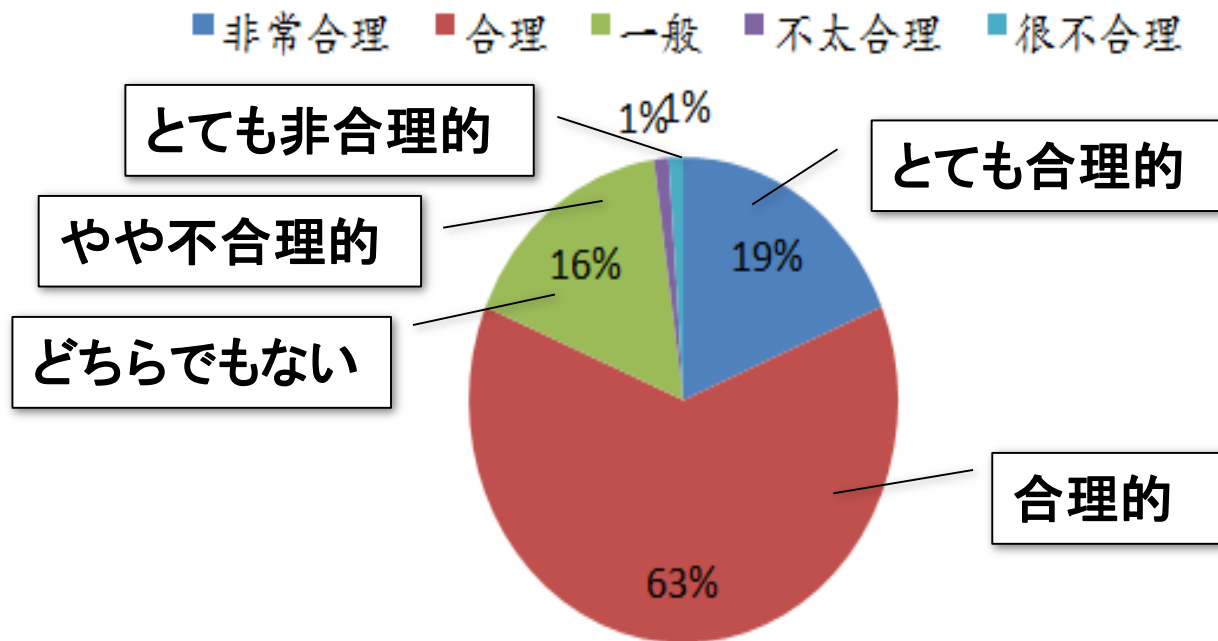
園長就任資格研修において、園長が希望する理論授業の
全授業に対する比率

■ 50%以下（含50%） ■ 理論課60% ■ 理論課70% ■ 理論課80% ■ 理論課90%



研修の内容

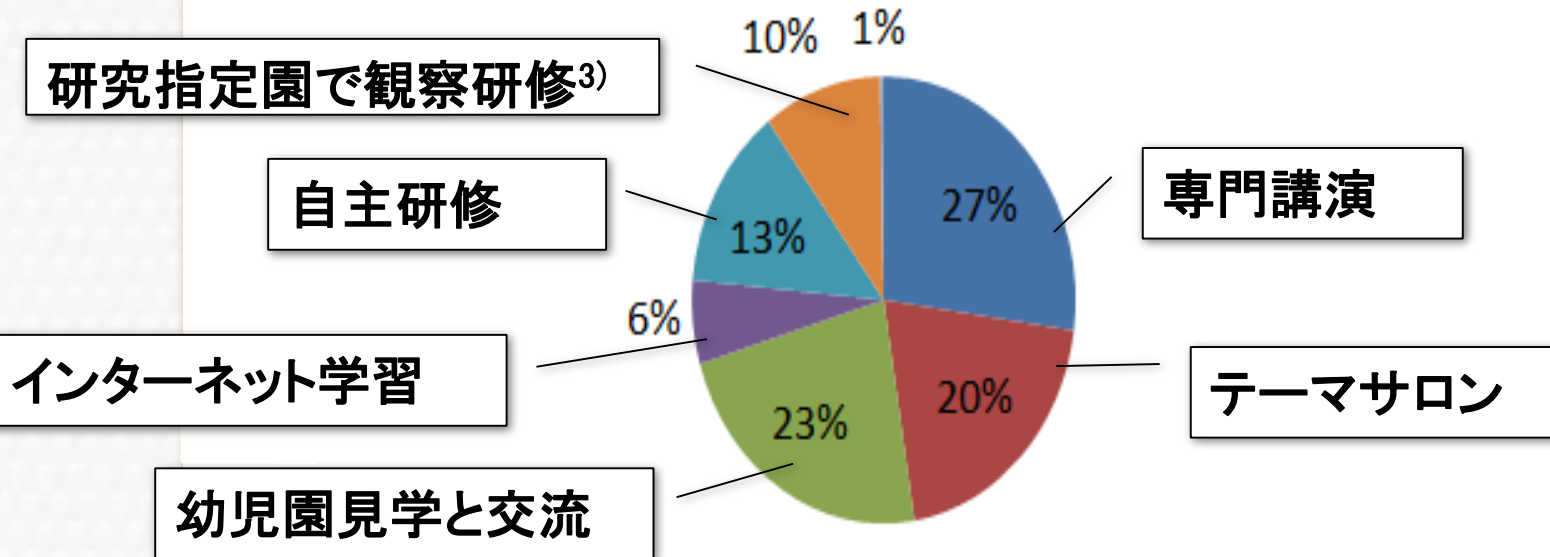
園長就任資格研修において、園長の授業に対する満足度



研修の仕方

園長就任資格研修の方法

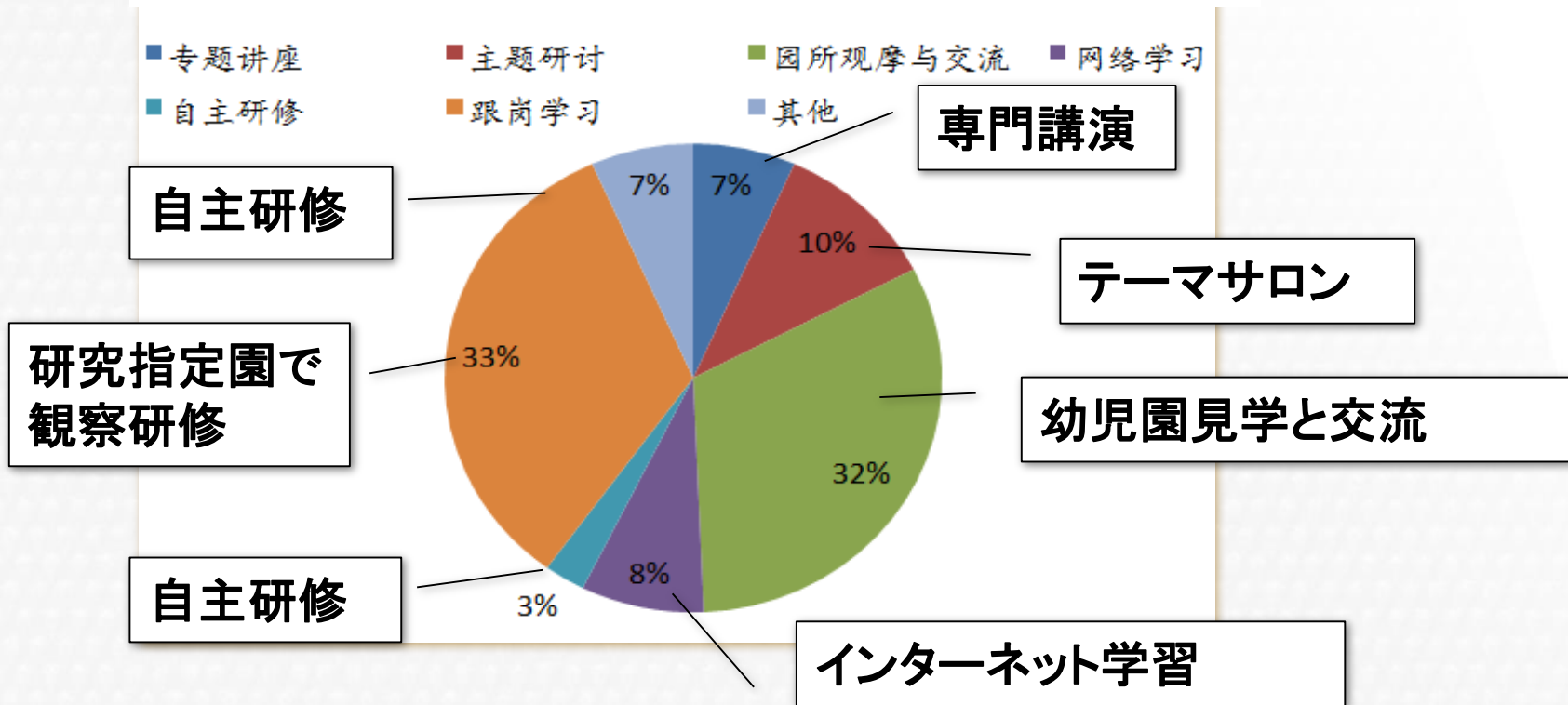
- 专题讲座
- 主题研讨
- 园所观摩与交流
- 网络学习
- 自主研修
- 跟岗学习
- 其他



研修機構でよく行われている研修の方法は、**専門講演、幼児園見学と交流、テーマサロン**である。

研修の仕方

園長就任資格研修で、園長が希望する研修の方法

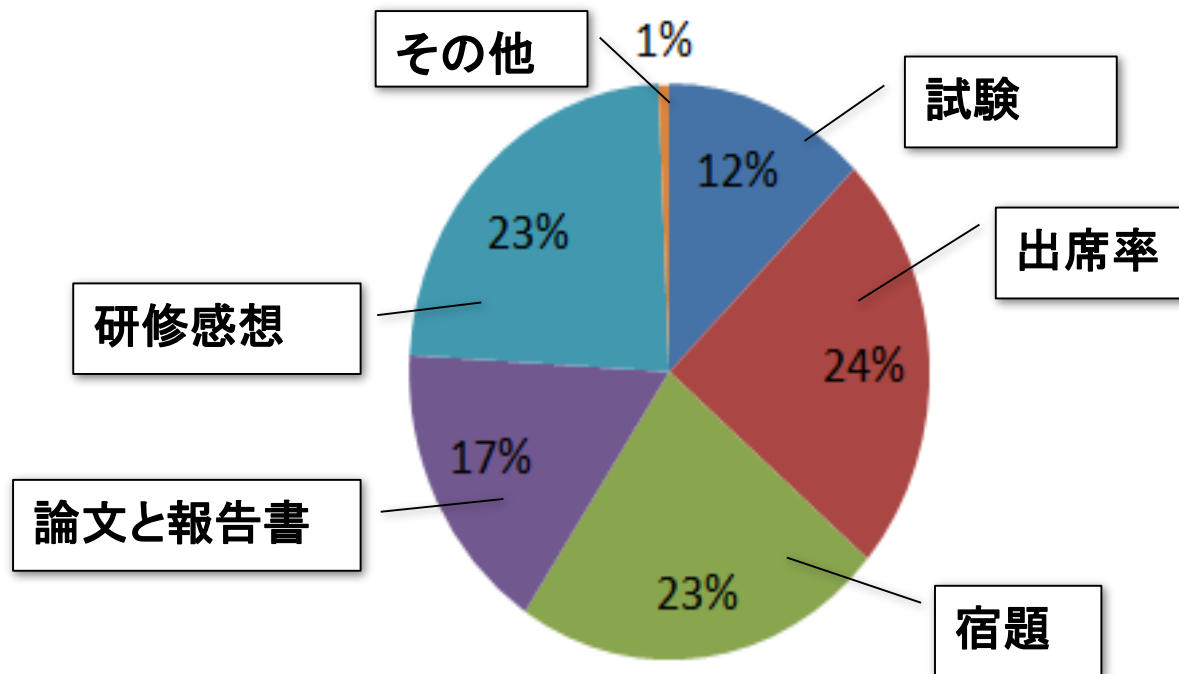


研修を受けた園長が最も希望した研修方法は、**幼稚園見学と交流**、**研究指定園での観察研修**、**テーマサロン**で、最も希望しなかった方法が**自主研修**と**専門講演**であった。

試験と審査の形式

園長就任資格研修における試験と審査の形式

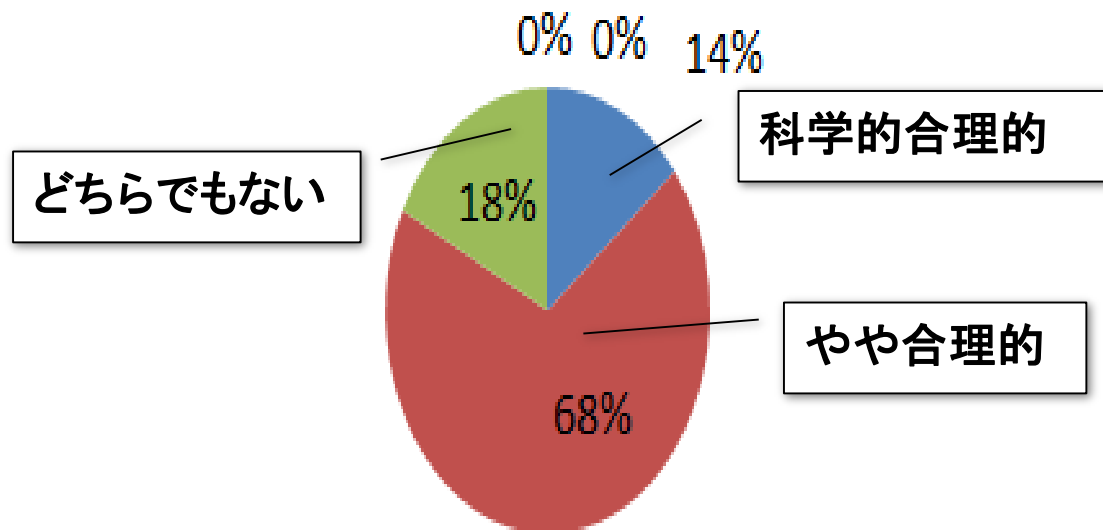
■ 考試 ■ 平时出勤 ■ 平时作业 ■ 撰写论文报告 ■ 撰写培训心得 ■ 其他



試験と審査の形式

園長就任資格研修において、園長の試験と審査の形式
に対する満足度

■ 科学合理 ■ 比較合理 ■ 一般 ■ 不够合理 ■ 非常不合理

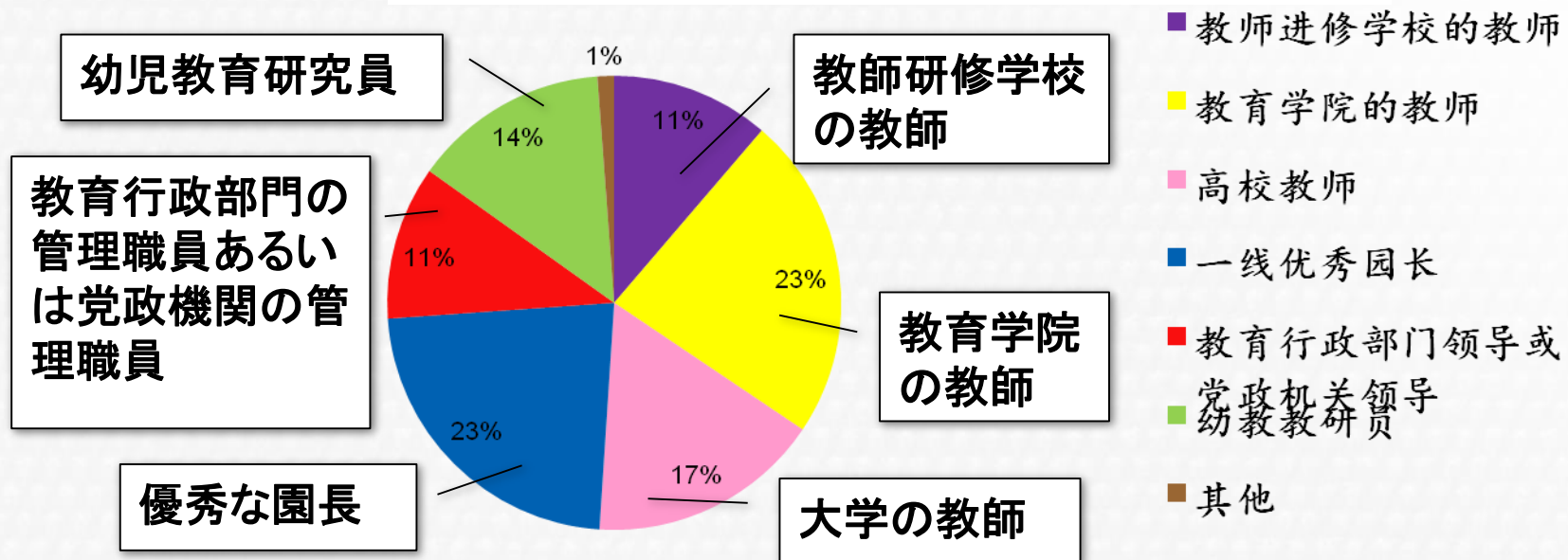


研修の講師

『幼児園園長職務研修の実施に関する意見』
では、幼児園園長職務研修の講師は、**研修機構
の教師、教育行政部門の管理職員、幼児教育専
門の学者、優秀園長**とされている。

研修の講師

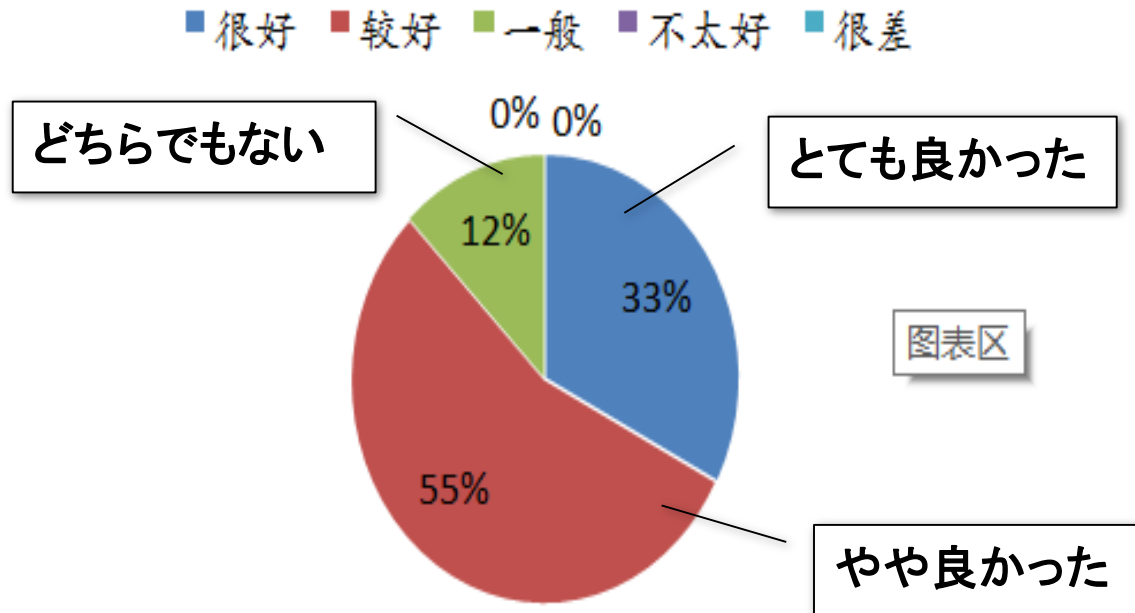
図9 幼稚園園長職務研修の講師



研修の講師は教師研修学校の教師、教育學院の教師、大学の教師、優秀園長、教育行政部門の管理職員と党政機関の管理職員、幼児教育研究員など、多様であつた。

研修の講師

幼稚園園長職務研修において、園長が講師に対する満足度



研修を受けた園長は、研修の講師に対して、全体的に満足していた。

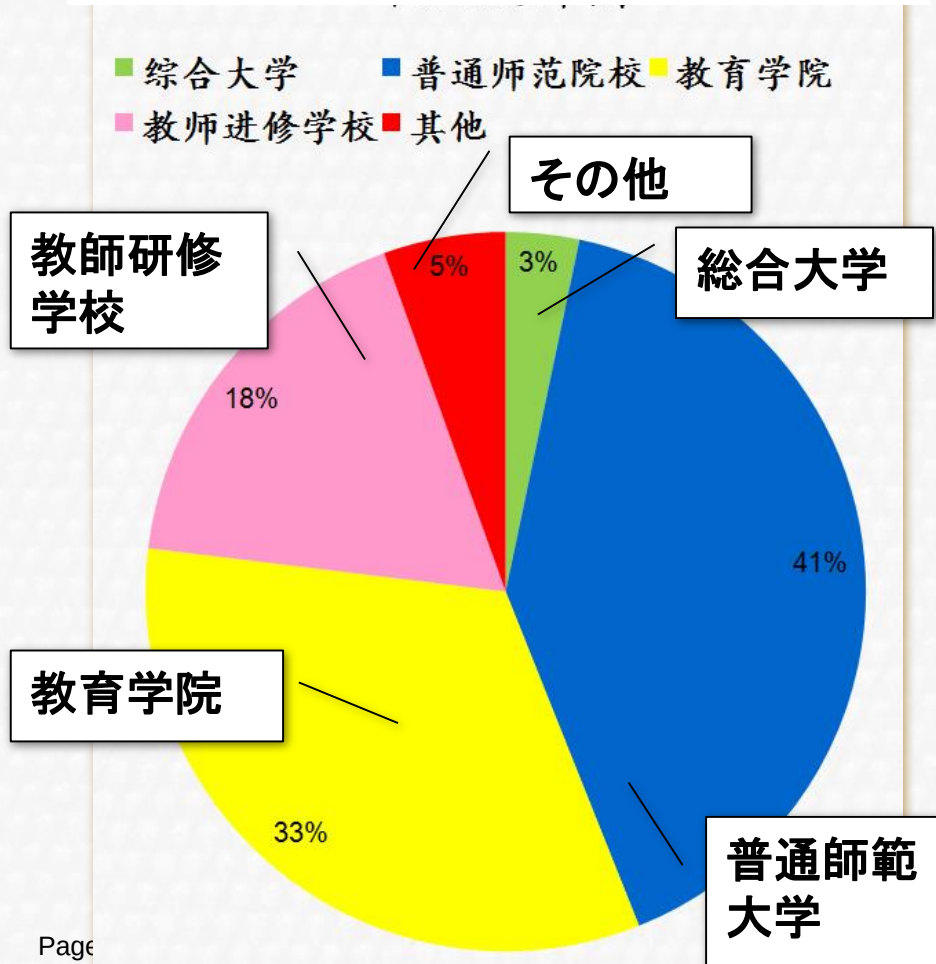
研修の機構

教育部の『中小学校校長研修規定』

「省、自治区、特別市政府教育行政部門は、校（園）長研修の機構で資格認定を行う。普通師範大学、教師研修学校、条件が揃っている総合大学は、国務院教育行政部門あるいは省、自治区、特別市政府教育行政部門から認定を受けており、校（園）長研修を行う。研修中、評価を受けて研修要求に満たなかった研修機構に対し、教育行政部門が期限内の改善を命ずる。また、期限内に改善できなかった機構に対し、校（園）長研修の停止を命ずる。教育行政部門の認定を受けずに校（園）長の研修を行う機構に対しては、教育行政部門は関連法律と規定によって行政処罰を下す。」

研修の機構

図8 園長就任資格研修の実施機構



園長就任資格研修は主に**普通師範大学、教育学院と教師研修学校**が実施していた。

本調査の課題は、研修機構に対する**資格認定**についてデータを収集できなかったことである。

また、個別の研修機構の管理者へのインタビューから、教育行政部門による**研修機構の評価が行われていないこと**、個別の園長のインタビューから、幾つかの**非正式の研修機構**も園長就任資格研修を行っていたことが明らかになった。

研修の証書管理

1996年1月25日、元国家教委（現在の教育部）公表の『幼稚園園長職務研修の実施に関する意見』

「幼稚園園長が職務研修に参加し、試験と審査によって合格すると、職務研修合格証明書（或は専攻終業証書）を授与する。証書は地（市）級教育行政部門が審査し、授与する。」

1997年12月31日、『中小学校校長が証書で就任する制度の実行に関する規定』

「職務研修合格証明書」は省級教育行政部門が統一印制、統一番号、「レベル別研修、レベル別管理」の原則に従い、対応する教育行政部門が審査し押印し、研修機構が代行で授与する。

研修の証書管理

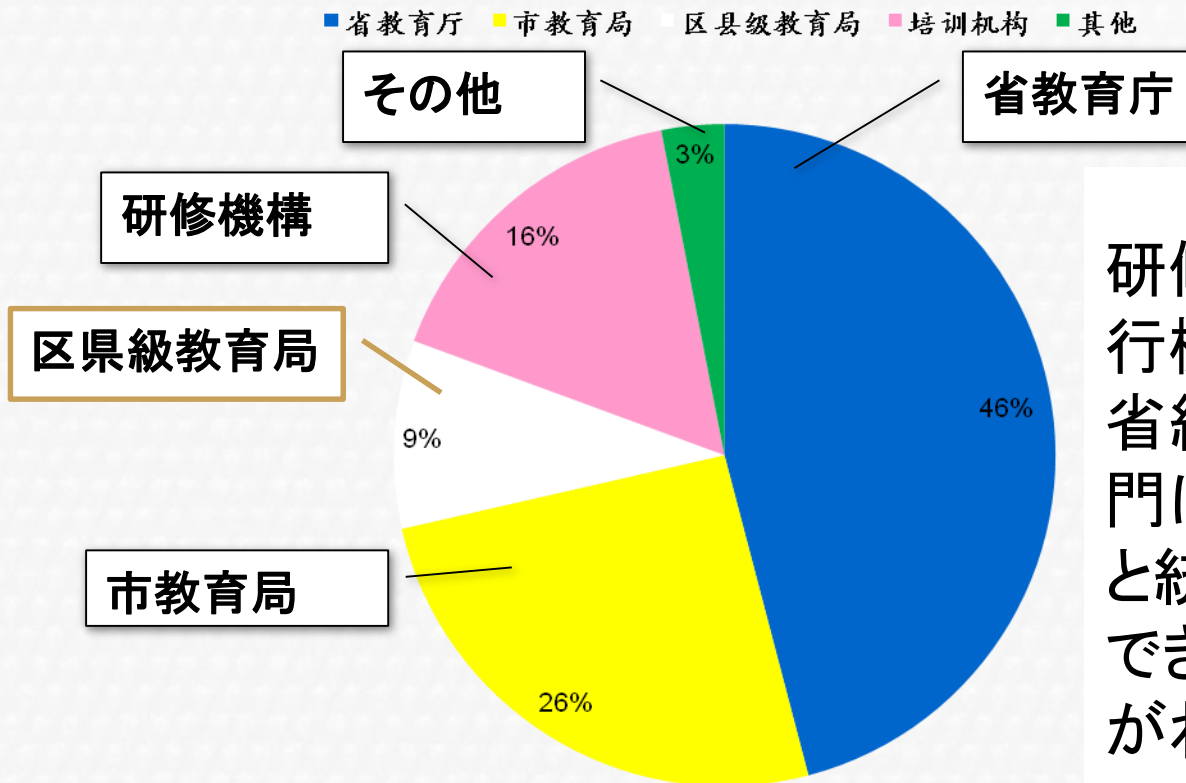
1999年12月30日、教育部『中小学校校長研修規定』

「研修に参加し、試験と審査に合格した中小学校校長に対し、研修証明書を授与する。省、自治区、特別市人民政府教育行政部門は証書の管理を強化する。」

幼稚園園長についても本規定にならい、実施する。

研修の証書管理

図6 『園長就任資格研修合格証明書』発行機構



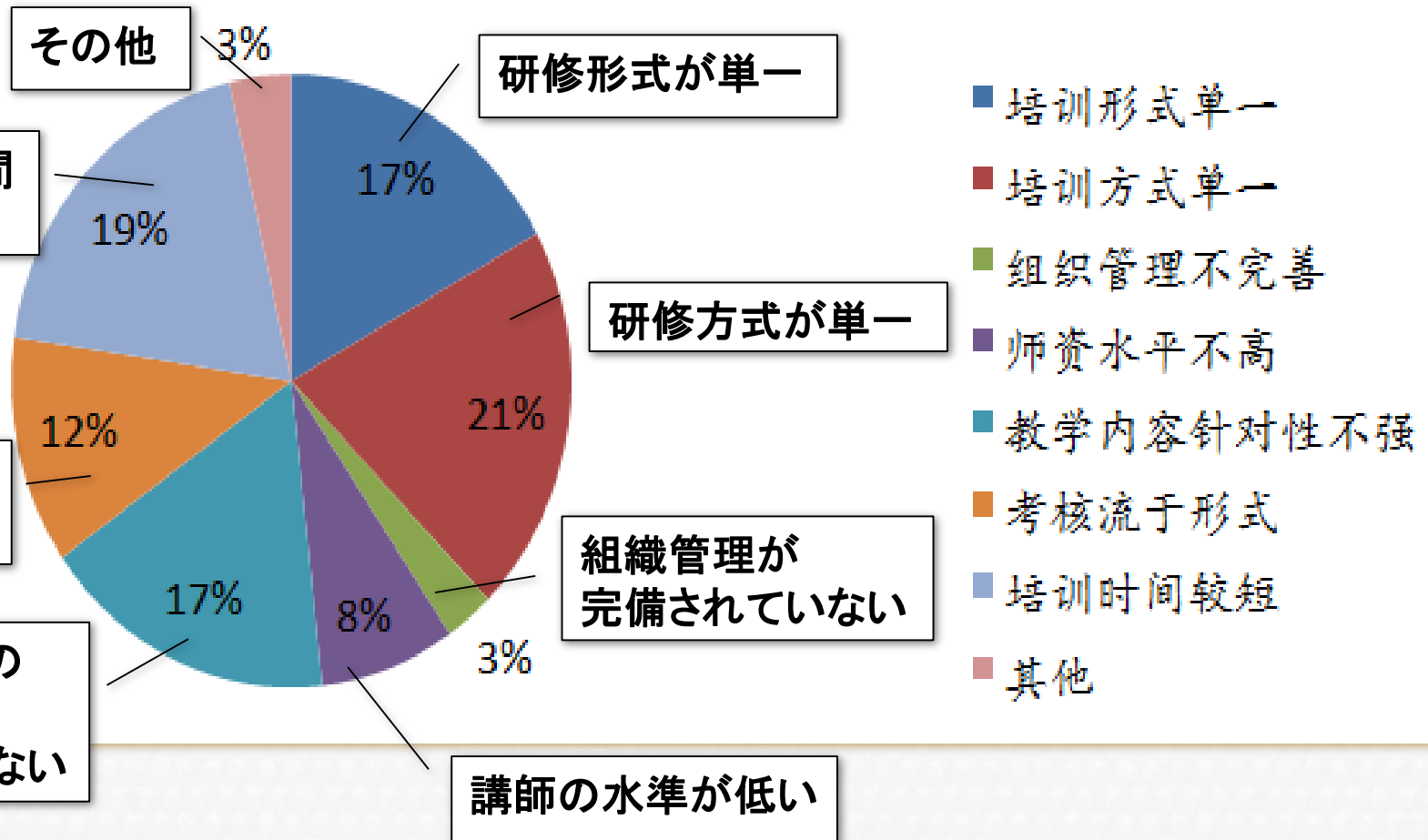
研修証明書の発行機構を見ると、省級教育行政部門は統一の印刷と統一番号で管理できていないことがわかる。

研修の証書管理

証書管理に関連する規定の幾つかの政策文書を見ると、国家は証書の印刷、番号、審査と押印、授与などに関して、証書管理の原則的な要求をした。しかし、実施のプロセスは非常に混乱しており、具体的な操作マニュアルが欠けていることが指摘される。

研修に関する課題

園長就任資格研修における課題



課題解決の構想

1. 国家レベルから幼児園園長就任資格研修制度を厳格に要求し、就任資格研修の名称の使用を規範化する。
2. 幼児園園長就任資格の学歴水準を向上する。一方で、農村園長チームの状況も考慮する。
3. 幼児教育職歴は園長の専門性や資質を保障する上で重要であるため、園長採用時の重要指標とするべきであり、教育監査の重要内容とするべきである。
4. 幼児園園長の資格要求について、最新の規定にならない、1級教師の資格を持つべきである。（正高級、高級、1級、2級、3級）

課題解決の構想

- 5.研修と実用の統合原則に従い、園長チームのニーズに合わせ、研修の対象を明確する。
- 6.研修時間を厳守し、証書を得てから就任する制度を厳守し、情報公開、教育監査と第三者評価などを通じて保障する。
- 7.研修内容は、園長が学び活用できる内容と能力に重点を置き、具体的に実施する際は、園長のニーズに合わせ、研修カリキュラムを作成する。
- 8.研修の方法について、専門講演を減らし、研修内容によって方法を統合する。
- 9.研修機構評価システムを作成し、研修資質の審査を厳守する。
- 10.全国の幼稚園園長の就任資格証書管理システムを作成し、証書管理を徹底する。

ありがとうございました。